

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 平成 27 年 12 月 1 日

設置・運営主体	川口市		
設置主体	川口市		
経営主体	株式会社 日本保育サービス		
事業所名 (施設名)	川口市立川口駅前保育園	種別	保育所
所在地	〒 332-0015 埼玉県川口市川口1-1-1 キュポラ8F		
電 話	048-222-6011		
FAX	048-222-6011		
Email	GSP30005@nifty.com		
URL	http://www.asuku.info/		
施設長氏名	西川 けい子		
調査対応担当者	西川 けい子/戸枝 陸 (所属、職名：園長/事業本部管理課)		
利用定員	120 名	開設年	平成 18 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>【運営理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. セーフティ（安全）&セキュリティ（安心）を第一に 2. お子様を一日を楽しく過ごし、思い出に残る保育を 3. 利用者（お子様・保護者ともに）のニーズにあった保育サービスを提供 4. 職員が楽しく働けること <p>【保育理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自ら伸びようとする力 ・遊びや生活の中で子どもたちの感受性や好奇心を伸ばし、「自ら伸びようとする力」を育てることを目指す。 2. 後伸びする力 ・目先の結果を期待するのではなく、様々なプログラムや行事を通して子どもたちの感受性や好奇心を伸ばし、生涯にわたる基礎を作り、後伸びする力を育てる保育を目指す。 3. 視覚・聴覚・味覚・触覚・嗅覚の五感で感じる保育 ・四季や自然の力を体感させ、視覚・聴覚・味覚・触覚・嗅覚の「五感で感じる保育」の充実を目指す。 <p>【園目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いきいきと遊べる子 ・はなしをしっかりと聞ける子 			
開所時間 (通所施設のみ)	(基本保育時間)	月～土	午前7時00分から午後6時00分
	(延長保育時間)	月～金	午後6時00分から午後8時00分

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	9	12	1		4
1歳児	15	18	1		4
2歳児	18	24	1		4
3歳児	24	27	1		2
4歳児	27	27	1		1
5歳児	27	27	1		1
計	120	135	6	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		24人	
うち	保育士	19人	保健師・看護師 1人
	栄養士・調理員	3人	その他（事務員） 1人
非常勤職員数		10人	（常勤換算 7.5人）
うち	保育士	6人	（常勤換算 4.1人）
	保健師・看護師	0人	（常勤換算 人）
	栄養士・調理員	4人	（常勤換算 3.4人）
	その他（ ）	人	（常勤換算 人）

（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。

（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 6人	非常勤： 人
	退職	常勤： 4人	非常勤： 2人

（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢 37.1歳（37.1歳）

（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数 3年（3年）

（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	—
延長保育	○	1時間延長 スポット：250円、月極： 2,500円 2時間延長 スポット：400円、月極： 4,000円 補食150円、夕食400円
休日保育	—	—
障害児保育	○	—
一時保育	○	1時間：500円
地域子育て支援センター	○	イベントの内容による
乳幼児健康支援一時預かり事業（病後児保育）		
アレルギー等対応給食	○	—
その他（事業名：)		

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・平成 27 年度におけるボランティアの受け入れ数（延べ人数）

13 人

・ボランティアの業務

中高生や社会人の保育職業体験など

【実習生の受け入れ】

・平成 27 年度における実習生の受け入れ数（実数）

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他 8 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	1,611 m ²
	児童1人あたり 13.4 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	856.2 m ²
	児童1人あたり 7.1 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成 18年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ①園に意見箱の設置
- ②第三者評価の実施(川口市からも実施)
- ③利用者アンケート
- ④運営委員会の実施
- ⑤個人別連絡ノート
- ⑥一日保育士体験の実施

【その他特記事項】

貴施設(事業所)の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・保護者との連携…掲示の「今日の様子」に写真を取り入れたり、個別ノートを手渡しに変更し保護者との会話の機会を増やしたり、週案のねらいを掲示し情報を共有できるようにしている。
- ・園内のエコ活動(絵本の寄付、包装紙折り紙、上履きのリサイクル他)を通し、保護者参加の場を作る。
- ・食育活動の取り組み…給食の調理くずを利用し、子どもたちと有機肥料を作り、栽培活動を行う。今年度は新しい種類の野菜(桜島大根、サニーレタス他)も取り入れて、収穫の楽しみにもつなげている。
- ・非常時、災害時の取り組み…避難階段の経験を増やしたり、不審者対応訓練を定期的に行い、対応の見直しを図っている。保護者や職員共にネームプレートを着用し、交流や不審者対策として実施している。
- ・園庭の有効活用…時間やエリアを分けて、午前午後と活用。子育て支援の園庭開放も行っている。
- ・子育て支援センターの開放時間を延ばした。一時保育や見学者の受け入れを行い、子育て相談等に応じる。

【第三者評価の受審状況】

・受審回数(前回の受審時期)

9 回 (平成 26 年度)